



ありがとうの数だけ

副校長 嵩原 佐知子

アリーナ棟前の紅梅が、寒さに負けず咲き始めました。

先日の道徳授業地区公開講座では、「子どもの成長を感じました」など、嬉しいお言葉を掛けていただきました。たくさんの方々のご参観ありがとうございました。

さて、今年度も全国学力・学習状況調査(6年生)が実施されました。国語・算数・理科の学力調査と児童質問紙調査があります。児童質問紙調査では、自分自身についての問いに対し、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる・あまり当てはまらない・当てはまらない」の4段階で回答します。結果は以下のとおりです。

1 学力調査の平均回答率

- (1) 国語 71% (全国 66.8%、都 70%)
- (2) 算数 63% (全国 58 %、都 64%)
- (3) 理科 60% (全国 57.1%、都 60%)

2 児童質問紙調査

「当てはまる」が全国平均より5ポイント以上高かった項目

○自分には、よいところがあると思いますか。

→全国より9.2ポイント高い(本校56.5%)

○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

→全国より9.5ポイント高い(本校 64.8%)

○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

→全国より6.6ポイント高い(本校 61.1%)

○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

→全国より5.4ポイント高い(本校38.0%)

学力調査では、3教科すべてで全国平均を上回り、都平均と同程度という結果でした。また、児童質問紙調査からは、子どもたちが自己肯定感や幸福感をもち、さらに、多様な考えを大切にする素地が養われていることがうかがえます。

学校の教育目標「◎学び合う子 ○つながり、支え合う子 ○健康でたくましい子」を目指してきた子どもたちは、今年度も着実に「確かな一歩」を刻みました。

映画監督の故・大林亘彦氏が、映画の中でいつも使う別れの言葉として、「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」を挙げています。「ありがとう」は、出会えた運命と出会ってくれたあなたへの感謝。「ごめんなさい」は、もらったものの大きさに対し、返しきれなかったことへの申し訳なさ。そして、最後には、礼儀正しく「さようなら」。人は「ありがとう」の数だけ賢くなり、「ごめんなさい」の数だけ優しくなり、「さようなら」の数だけ愛を知るのだそうです。

授業中や休み時間、学校生活のさまざまな場面で、たくさんの「ありがとう」とともに「ごめんなさい」が聞こえてきました。互いを認め合い、意見を交わし、学び合うことこそ、多様性を理解し、共に成長していく土台となります。子どもたちは「ありがとう」の数だけ賢くなり、「ごめんなさい」の数だけ優しくなってきたことと思います。

そして、3月には「さようなら」もあります。子どもたちは、その数だけ愛を知ることができるでしょう。

今年度の登校する日は30日余りとなりました。子どもたちが希望にあふれた春を迎えられますよう、残りの日々、変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

第2回けやきテストの結果について <11月11日～14日実施>

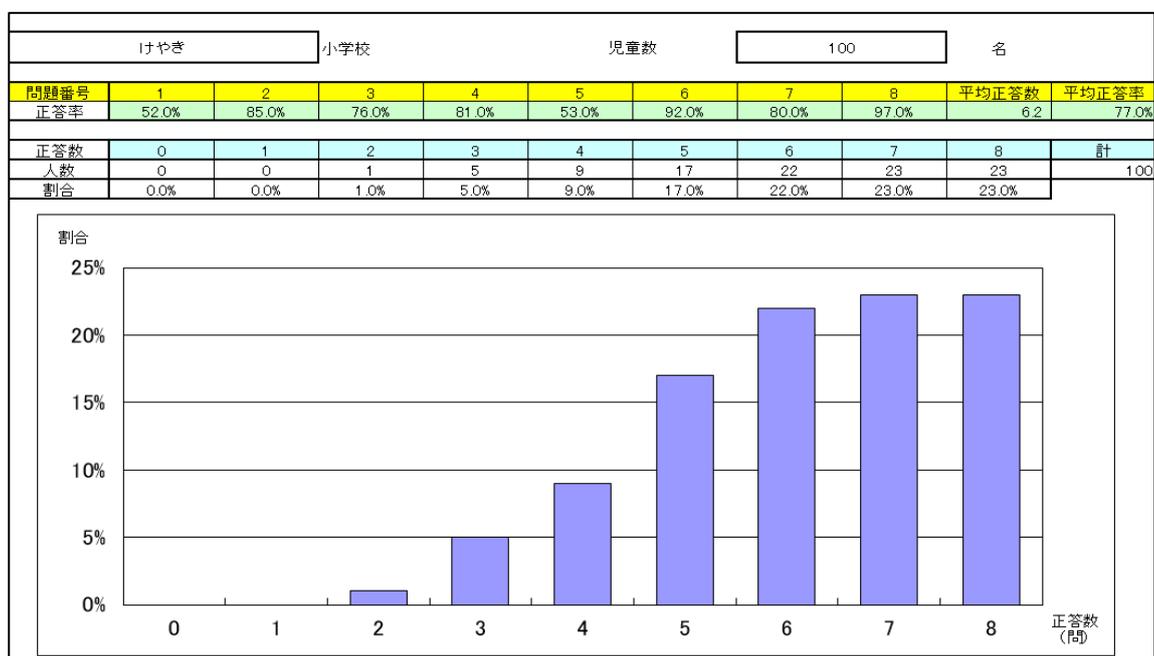
本校では毎年、2年生から6年生までを対象に、前年度の算数の学習内容が定着しているかを確認する「けやきテスト」を行っています。このテストは、東京都教育委員会作成の「東京ベーシック・ドリル」を活用しています。このテストの結果を活用し、前年度の内容で身に付いていること・理解が十分でないこと等を把握させ、不十分な部分は繰り返し指導したり復習を促したりしています。第2回は、11月に実施し返却済みです。

第1回と第2回目の結果を比較すると、基礎となる「整数・小数・分数」「たし算・ひき算・かけ算・わり算」などの数に関する問題の正答率は、第一回に引き続き高い傾向にあり、学習の定着が見て取れます。

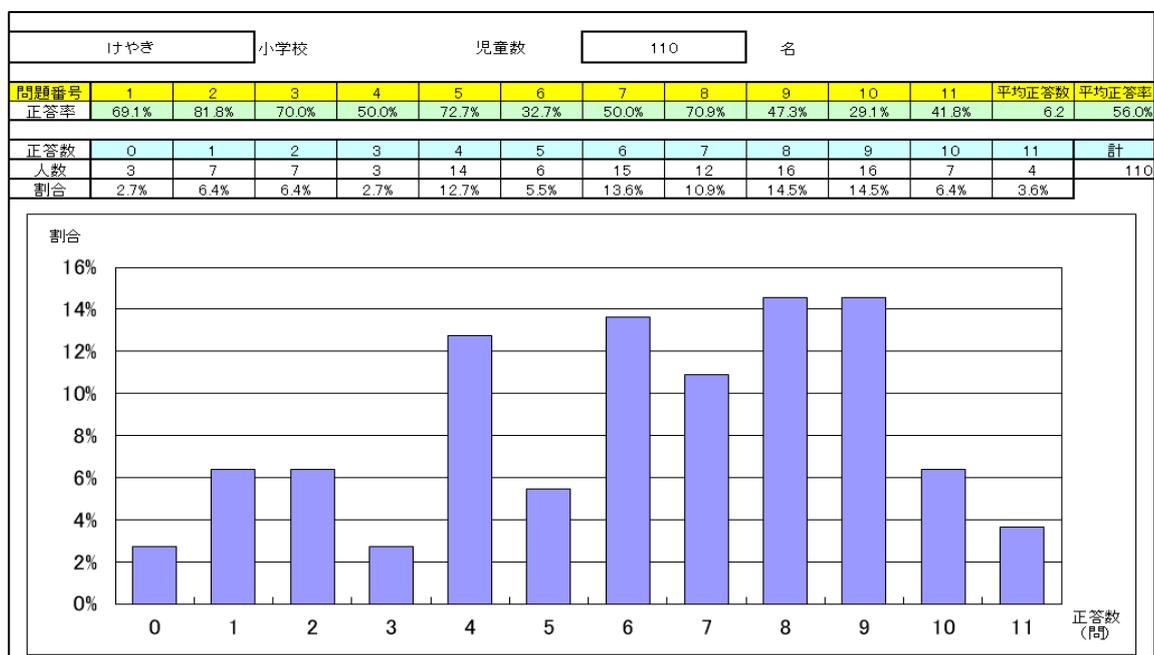
一方で、問題場面を図や式で表すことや、図形、面積の計算、単位量当たりの大きさ、割合など、課題が残る内容も認められたので、今後の指導につなげていきます。

タブレットで「東京ベーシック・ドリル」と検索すれば、インターネット上で練習問題に取り組むことができます。もうすぐ新しい学年に進級するこの時期に活用してみてもはいかがでしょうか。

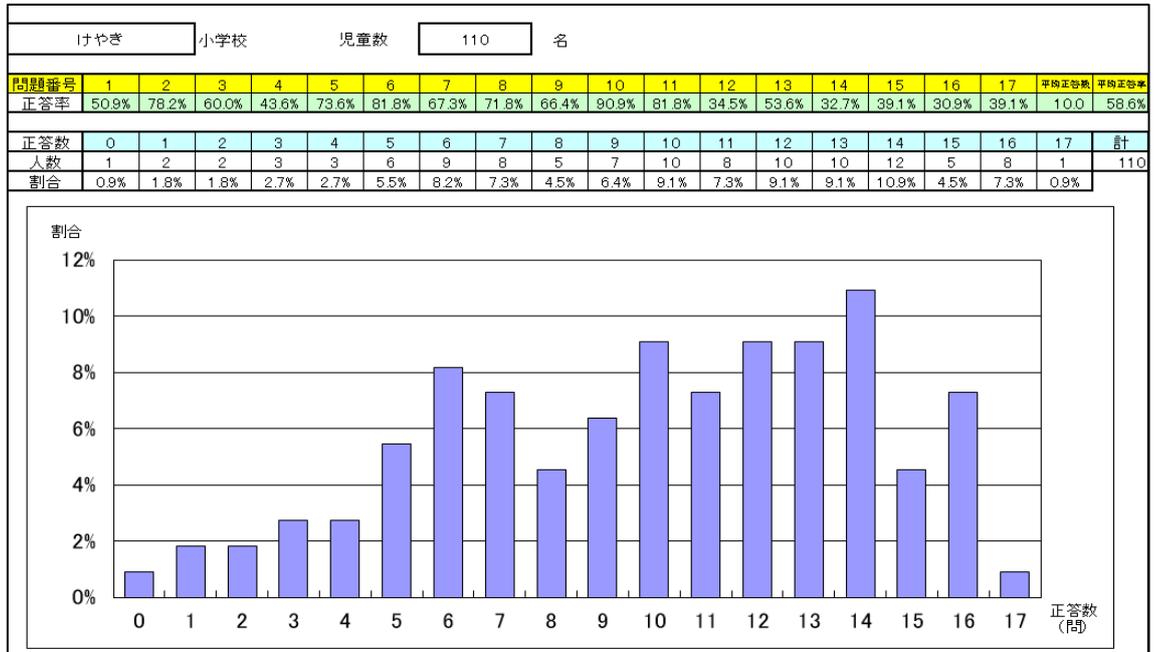
2年生



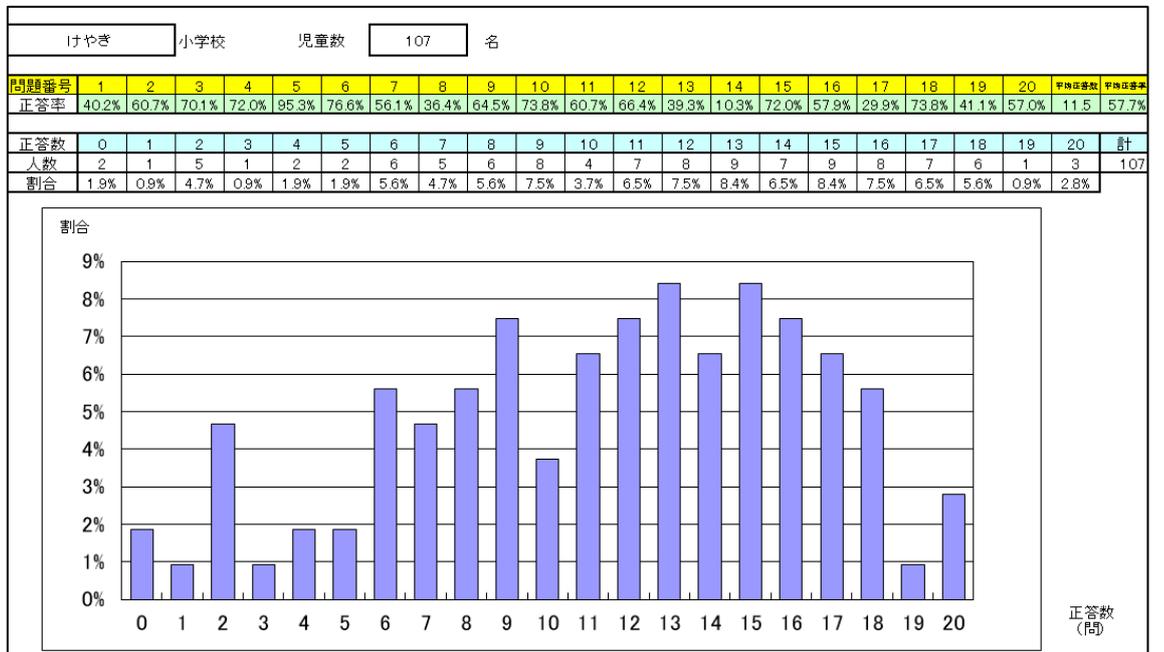
3年生



4年生



5年生



6年生

